

まちづくり人財塾 第3回講座 開催のご報告

テーマ「地域での話し合いの手法を学ぼう！②」

今回は、付箋を使った話し合いの手法と、掛け算式アイデア出しという手法を体験しました。

話し合いの流れとして、

【発散】意見をたくさん出す→【収束】意見をまとめる→【決定】最終的に決める
というものが、今回行った2つの手法も、この流れに沿った形となっています。

【付箋を使った話し合いの手法】

●グループ内で「司会」「発表」「書記」「時間係」の役割を決め、まずは個人でテーマに沿った意見を付箋に書き出します。付箋に書くときはサインペンで大きく、単語ではなく短文で書き、付箋1枚に意見1つを書き出していきます。**【発散】**

●次に、書き出した付箋を模造紙に貼り出し、グループ内で共有していきます。



●グループ内で共有した意見の中から、全体に発表する意見を絞っていきます。**【収束】**

●グループでまとめた意見を、今度は会場全体で発表します。

●良いと思った意見に丸シールを貼り、投票を行います。(ドット投票) **【決定】**

テーマ「三戸のマスター(達人)を探せ！」

【票を多く獲得した三戸のマスター達】

- 三戸高校 かなさん お笑いマスター
- 教育委員会 野田さん 歴史マスター
- 田沼さん ホップマスター



【掛け算式アイデア出し】

●既存のものと何かを掛け合わせて新しいアイデアを生む手法です。例えば「あんこ」×「パン」＝「あんパン」、「ラジオ」×「カセットテープレコーダー」＝「ラジカセ」など。



今回のテーマは「11ぴきのねこを使って、三戸町を盛り上げよう！」ということで、「11ぴきのねこ」と何かを掛け合わせて、三戸町を盛り上げるアイデアを発表していきました。

●まずは、掛け合わせるものを付箋に書き出します。【発散】

これは、三戸町の特産品や、自分がワクワクするような事、前半で挙げた「マスター」の力を掛け合わせてみても新しいアイデアに繋がると思います。

●次に、グループで付箋を共有し、11ぴきのねこと何を掛け合わせてどのような事ができるか、アイデアを出し合います。そして、全体へ発表する選りすぐりのアイデアを3つまで絞ります。【収束】

●そして、最後に全体発表を行い、面白いと思ったアイデアに丸シールを貼ってドット投票を行いました。【決定】

【票を多く獲得した掛け合わせアイデア】

- 11ぴきのねこ×歩行者用信号機
- 11ぴきのねこ×ねぶた
- 11ぴきのねこ×ワインマスター
- 11ぴきのねこ×フード付きタオル



【アンケートの声】

- 身近な話し合いの場に今年度学んだ内容を活かしたい。
- 話し合いの場に積極的に参加しようと思った。
- 沢山の人とコミュニケーションをする楽しさが分かった。 など

アンケートでは、今年度学んだ内容を活かすための「ファシリテーションの実践の場」が今後あるとしたら参加したいかという問いに、大半の参加者が「参加したい」と答えてくださいました。

当日は18名の方にご参加いただきました。
今年度ご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました。